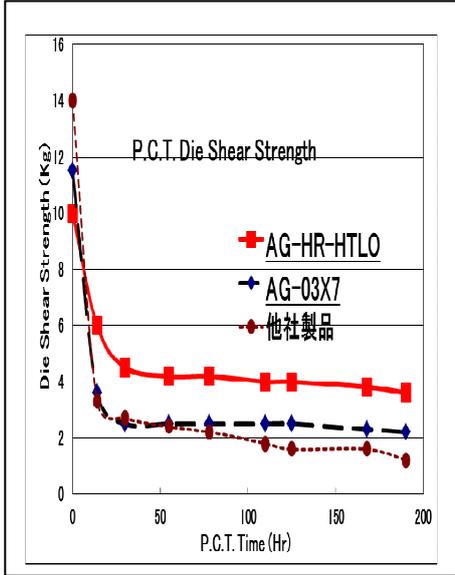
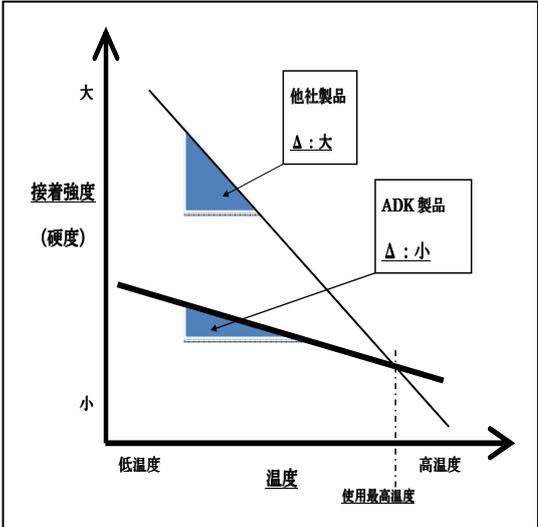


企業名	株式会社 アンドウ・ディーケイ (略称: ADK)	
URL	http://www.andodk.co.jp	
所在地	〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 4489-105 慶應藤沢イノベーションビル104	
担当者	安東 正昭 TEL:0466-47-7096 / FAX:0466-47-7196 / E-mail:masa-ando@andodk.co.jp	
企業概要	設立: 2011年7月 / 代表者: 代表取締役 安東 正昭 資本金: 300万円 / 売上高: 2500万円 (見込) / 従業員: 2名	
商談の目的	□技術の提供、□技術や製品の用途開発、□共同開発、□製品の販路開拓	
技術・製品の概要	<p>弊社のエポキシ樹脂接着剤は、自動車制御用 IC、原子炉制御用 IC に使用されるほど高性能な接着剤であり、被接着物とその使用環境など困難な要求に答えるべく開発されました。特に半導体素子分野における、熱伝導、耐水耐湿、耐候性、耐変色性などの特性が評価され、素子の実装とパッケージング技術の進歩に寄与しております。</p> <p>これらの接着剤は、MEMS (Micro Electro Mechanical System) や機械部品、真空内機構部品への応用も期待されています。</p>	
技術製品の詳細説明	 <p>弊社の技術は、左図にお示しする導電性高熱伝導接着剤 AG-HR-HTLO、一般用途用導電性接着剤 AG-03X7 のような高性能接着剤を、貴社の用途に応じてカスタマイズすることが可能です。</p> <p>接着剤に要求される特性は、接着強度、硬度、CTE、T_g、反り、ポイド、粘度、導電性、熱伝導性、作業寿命、硬化条件、耐熱性、耐水性、耐候性などがあります。左図の代表的な製品は、これらの要素をバランスよく実現し、かつ信頼性を高めたものです。この PCT (加圧耐水試験) で接着強度の時間変化は緩やかで、他社製品に比べ信頼性の高いことを示しています。</p>	
特徴	<p>ADK 製品は信頼性を向上するために、独自のエポキシ樹脂配合、フィラー配合技術により接着強度の温度依存性を緩やかにすることを特徴としております。</p> <p>※エポキシ接着剤の接着強度は温度上昇に伴い低下します。目的とする高温で接着強度を得るためには室温での強度はその何十倍にもなり不要な内部応力を被接着物に与えています。この内部応力が熱衝撃などによりクラックや剥離を発生させ、信頼性を低下させる原因になっています。</p>	
面談希望企業	半導体、半導体製造装置メーカーなど	
取引先	Lingsen, Everligh, Semi, ルネサエレクトロニクス (旧沖電気), ミツミ, コーデン	
知的財産等		